

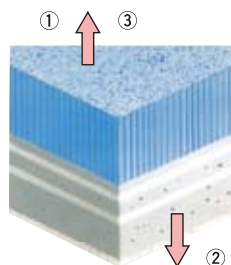
## 制電性

パイルに導電性繊維を混入。  
 ホストコンピューターや端末の誤作動を防ぎます。



東村山電算センター

ロボフロアーは、導電性繊維を混入し自己放電機能を備えているため、安定した制電性能を保持しています。とくにロボフロアータイルの場合、湿度20%の乾燥下においてもその条件を満たします。端末が大量に設置されている銀行や店舗、オフィスはもちろん、ホストコンピューターが設置されている電算室でも使用されています。



- ①導電性繊維の使用により、自己放電性を向上
- ②下地への漏洩
- ③空気中の電荷と中和

### ロボフロアーの帯電レベルの測定結果

#### 試験方法/JIS L 4406

床面に絶縁板を敷いた試験室で、試験片の上を歩行した時の帯電圧 (kV) を測定。3回行い、平均値を表す。(合成ゴム底靴)

タイプ \ 条件	23℃25%RH	20℃20%RH
ロボフロアータイル	0.26kV	0.33kV
ロボフロアーシート (HD)	0.21kV	0.35kV

※上記の試験結果は測定値であり、保証値ではありません。

ホストコンピューターの誤作動防止には、人体帯電圧0.5kV以下が理想的とされています。ロボフロアータイルなら、フリーアクセスフロア (床下配線用二重床) にも対応しています。

#### 参考 人体帯電と電撃の強さの関係

まったく感じない	人体帯電圧 1.0kV以下
指の外側に感じるが、痛まない かすかな放電音発生	人体帯電圧 2.0kV以下
針で刺された感じを受け、チクリと痛む	人体帯電圧 3.0kV以下
針で深く刺された感じを受け、指がかすかに痛む、放電の発光を見る	人体帯電圧 4.0kV以下

## 保温性

居住性や作業性を高める、適度な熱伝導率。  
 省エネ効果も高く空間のランニングコストを軽減します。

カーペットならではの暖かさやソフトな感触は、医療施設や老人ホームの居住性に大きく貢献します。またOA機器を使用するオフィスワークでは、足腰の冷えと目の疲れは密接な関係があるといわれています。居住性と作業効率の両面から、カーペットの持つ保温性能が有効とされています。

